

1

- 問1 問2 (1) (2) 問3
- 問4 (1) (2) 問5 問6 問7
- 問8 問9 (1) (2) (3)
- 問9 (2) : 順不同・完答
- 問10 (1) A B
- 問10 (1) : 各完答
- 問10 (2) (3) 問11 (1) (2) 問12

2

- 問1 A B C
- 問2 ① ② ③
- 問3 問4
- 問5 (1) (2) (3) 問6 (1) (2)
- 問7 (1) (2) 問8
- 問9 (1) (2) 問10
- 問10 : 完答

1

- 問2 (1) イ：ロシアの説明 ウ：サウジアラビアの説明
エ：ブラジルなどの説明 (流域面積が最大となる河川はアマゾン川)
- 問3 ア：サウジアラビア イ：朝鮮民主主義人民共和国 エ：ブラジル
- 問4 (2) ア：衣類や家具の輸入が多いことから中国
イ：医薬品や自動車の輸入が多いことからドイツ
ウ：石炭をはじめとする地下資源の輸入が多いことからオーストラリア
エ：医薬品や肉類の輸入が多いことからアメリカ
- 問7 A：たくさん生まれて、たくさん亡くなる＝多産多死
C：生まれる人の数が減り、長生きの人が増える＝少産少死
B：長生きの人が増えるが、生まれる人の数がさらに減る＝人口減少
- 問9 (1) 人口密度は人口(人)÷面積(km²)で求めることができます。
(2) ア：神奈川県 イ：静岡県 オ：宮城県 カ：神奈川県
(3) B：機械工業の出荷額が3つの中で最も多いことから中京工業地帯
C：金属工業の出荷額が3つの中で最も多いことから阪神工業地帯 残ったAが京浜工業地帯
- 問10 (1) ア：新潟水俣病が発生した新潟県阿賀野川下流域 イ：イタイイタイ病が発生した富山県神通川下流域
(2) A：現在の日本で最も苦情件数の多い公害は騒音です。
(3) ゴミを減らす「リデュース」、一度使ったものを再生利用する「リサイクル」と区別しましょう。
- 問11 (2) ウ：過密によって引き起こされる問題です。
- 問12 A：第一次産業→農林水産業 B：第二次産業→製造業・建設業・鉱業など
C：第三次産業→第一次・第二次産業に該当しないもの(サービス業・小売業・運輸業・情報通信業など)

2

- ①：茨城県 ②：栃木県 ③：群馬県 ④：千葉県 ⑤：埼玉県 ⑥：東京都 ⑦：神奈川県
- 問4 イ：群馬県 ウ：福岡県 エ：東京都
- 問5 (1) 群馬県が接しているのは、福島県・栃木県・埼玉県・長野県・新潟県です。地図帳で確認しましょう。
ア：福島県 イ：山梨県 ウ：岐阜県 エ：滋賀県
(2) ア：千葉県でさかん イ：熊本県でさかん エ：栃木県でさかん
- 問6 (1) ア：青森県から宮城県にかけて広がっているリアス海岸 イ：茨城県 ウ：静岡県の砂浜海岸
(2) ア：精密機器や集積回路のように航空機での輸送に適した小型・軽量・高価な品目が多いことから成田国際空港
イ：自動車や自動車部品の輸出が多いことから名古屋港
ウ：肉類や衣類の輸入が多いことから東京港
エ：たばこの輸入が多いことから神戸港
- 問7 (1) ア：和歌山県 イ：北海道 ウ：高知県 エ：埼玉県・東京都
(2) ア：促成栽培がさかんな宮崎県があることから「きゅうり」
イ：近郊農業がさかんな埼玉県や千葉県があることから「ねぎ」
ウ：抑制栽培がさかんな長野県や群馬県があることから「はくさい」
エ：北海道や兵庫県が上位なことだからたまねぎ
- 問8 ア：尖閣諸島(沖縄県) イ：屋久島(鹿児島県) エ：択捉島(北海道)
- 問9 (1) ア：東京都 ウ：埼玉県 エ：茨城県
(2) ア：割合の変化が小さいことから水力発電
イ：最も割合が高いことから火力発電
ウ：2010年と2020年の間に割合が激減したことから原子力発電
エ：近年増加傾向にあることから新エネルギーによる発電
- 問10 ア：埼玉県の説明 イ：千葉県の説明 ウ：神奈川県の説明 エ：東京都の説明